

平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ブロッコリー

コード番号 2706 URL <http://www.broccoli.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 知治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 渡邊 朋浩

TEL 03-5372-6322

四半期報告書提出予定日 平成26年7月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の業績(平成26年3月1日～平成26年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	1,531	28.8	460	73.6	459	73.7	283	18.2
26年2月期第1四半期	1,189	3.3	264	△14.3	264	△14.3	239	△27.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	8.66	—
26年2月期第1四半期	7.33	7.32

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年2月期第1四半期	4,484		3,367		75.1	
26年2月期	4,490		3,509		78.2	

(参考)自己資本 27年2月期第1四半期 3,367百万円 26年2月期 3,509百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年2月期	—	0.00	—	13.00	13.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	0.00	—	6.00 ～7.50	6.00 ～7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,100 ～6,800	△10.1 ～0.2	1,600 ～2,000	△25.6 ～△7.0	1,600 ～2,000	△25.6 ～△7.0	1,000 ～1,200	△47.6 ～△37.1	30.55 ～36.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期1Q	32,738,211 株	26年2月期	32,738,211 株
② 期末自己株式数	27年2月期1Q	1,323 株	26年2月期	1,323 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期1Q	32,736,888 株	26年2月期1Q	32,728,474 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、堅調な個人消費や円安、輸出に加え、雇用・所得環境の改善や株高の他、平成32年(2020年)の東京五輪開催決定もあり、景気は、改善傾向となりました。

当社が属するエンターテインメント業界におきましては、スマートフォンゲーム市場の拡大傾向が顕著であり、特にゲームアプリの市場規模は急伸しております。加えて、タブレット端末の普及や、無料通話・無料メールアプリも存在感をますます高めるなど、市場の多極化が進み、業界環境は急速に変化しております。

当社は、かかる経営環境下において、更なる事業及び収益の拡大を図るために、①『うたの☆プリンスさまっ♪』の“ムーブメント化”への前進! ②リアルグッズのNo.1メーカーへ! ③『Z/X(ゼクス)』2nd Stage Yearへの挑戦! ④プロモーション&セールスの強化 ⑤BCPを中心とした社員の安全と幸福の追求 の5点を今期の課題とし、「自社内にて開発するコンテンツのヒット創出及びハイリターンの追求」、「リアルグッズ製作での確実な収益確保」の2つを両立する事業戦略(ツインエンジン化)をより強固かつ安定的なものとするべく推進してまいりました。

このような状況下、当第1四半期累計期間の売上高は1,531百万円(前年同期比128.8%)、売上総利益率は48.8%(前年同期と同水準)、売上総利益は746百万円(前年同期比128.7%)となりました。

この主な要因としましては、以下のとおりとなります。

ゲーム部門につきましては、『うたの☆プリンスさまっ♪All Star』『うたの☆プリンスさまっ♪Repeat』をはじめとした『うたの☆プリンスさまっ♪』関連作品のバックオーダーが好調であり、また、平成26年4月より、当社ゲームソフト『神々の悪戯』を原作としたTVアニメ『神々の悪戯』が放映を開始したことに伴い、同ゲームソフトのバックオーダーも好調に推移し、期初計画を大幅に上回ることができました。CD部門につきましては、4月からリリースを開始いたしました『うたの☆プリンスさまっ♪アイドルソング』新シリーズの2作が好調な売上で推移いたしました。カードゲーム部門につきましては、平成26年4月に第8弾『神祖の胎動』を発売いたしましたトレーディングカードゲーム『Z/X-Zillions of enemy X-(ゼクス ジリオンズ オブ エネミー エックス):略称Z/X(ゼクス)』シリーズの売上が順調に推移いたしました。グッズ部門につきましては、当社女性向けコンテンツ『うたの☆プリンスさまっ♪』関連グッズをはじめ、他社男性向けコンテンツの関連グッズも好調に推移し、期初計画を上回ることができました。

販売費及び一般管理費につきましては、販売手数料の減少等により、286百万円(前年同期比91.0%)となりました。

この結果、営業利益は460百万円(前年同期比173.6%)、経常利益は459百万円(前年同期比173.7%)、四半期純利益は283百万円(前年同期比118.2%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は4,129百万円で、前事業年度末に比べ59百万円減少しております。現金及び預金の減少186百万円、商品及び製品の増加54百万円、仕掛品の増加49百万円が主な要因であります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は354百万円で、前事業年度末に比べ53百万円増加しております。出資金の増加46百万円が主な要因であります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は1,077百万円で、前事業年度末に比べ140百万円増加しております。買掛金の増加89百万円及び未払金の増加68百万円が主な要因であります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は39百万円で、前事業年度末に比べ4百万円減少しております。リース債務の減少4百万円が主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は3,367百万円で、前事業年度末に比べ142百万円減少しております。これは、四半期純利益283百万円が計上された一方で、剰余金の配当425百万円が行われたことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期につきましては、前述いたしました「今期の課題」5点を掲げ、「自社内にて開発するコンテンツのヒット創出及びハイリターンの追求」、「リアルグッズ製作での確実な収益確保」の2つを両立する事業戦略(ツインエンジン化)をより強固かつ安定的なものとするべく推進してまいります。

通期業績予想及び配当予定につきましては、下記「※レンジ形式の業績予想及び配当予定について」に記載しております内容に基づき、サマリー情報記載のとおりレンジ形式での表示といたします。

※レンジ形式の業績予想及び配当予定について

「ツインエンジン」を事業戦略とする当社の売上構成は、

- A. マーチャンダイジング、マーケティングの手法が比較的通用し、努力度やPDCA等の成果が売上と利益に反映され易い、グッズ部門
- B. ユーザー評価は、その感性に委ねられ、まさに発売してみないと市場の反応が判別できないコンテンツ部門に大別されます。

更に、コンテンツ部門におきましては、売上の振れ幅に加えて、その販売数量により利益率が大きく上下します。

よって当社は、期初から第2四半期終了時までには売上・利益・配当ともにレンジ形式での予想数字として、期末に近づき数字の確実性の増す第3四半期終了時に、単独数字での発表を予定しております。ただし業績の進捗を踏まえ、上記の期日以前に合理的な算定が可能になった場合には、その時点で速やかに開示いたします。

※スマートフォン向けゲームアプリ『うた☆プリアイランド(iOS版)』配信一時中断による当社業績への影響について

平成26年6月26日より配信を開始いたしました当社スマートフォン向けゲームアプリ『うた☆プリアイランド(iOS版)』の配信を、同年7月1日より一時中断(10月からの再開を予定)しておりますことによる通期業績への影響を精査し、当第1四半期累計期間の業績を鑑みましたが結果、当該商品の期内売上減100百万円と追加開発費用及びそれに伴う営業利益減を含めまして、通期業績予想及び配当予定について、平成26年4月10日公表の「平成26年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で発表いたしました数値からの変更はありません。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日及び現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成しておりますが、業績等につきましては経営環境の変化やその他様々な要因により大きく異なる可能性がありますので、その場合には開示が可能となった時点で速やかに業績予想の修正を公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,284,135	3,098,091
売掛金	677,453	680,126
商品及び製品	62,120	116,134
仕掛品	30,680	80,599
原材料及び貯蔵品	1,863	2,067
その他	133,131	152,917
流動資産合計	4,189,385	4,129,937
固定資産		
有形固定資産	32,811	32,106
無形固定資産	101,117	110,398
投資その他の資産		
その他	168,743	213,731
貸倒引当金	△2,000	△2,000
投資その他の資産合計	166,743	211,731
固定資産合計	300,672	354,236
資産合計	4,490,057	4,484,174
負債の部		
流動負債		
買掛金	226,505	315,697
未払法人税等	189,781	153,438
返品調整引当金	34,334	34,461
賞与引当金	25,973	29,420
役員賞与引当金	56,000	10,000
その他	404,018	534,364
流動負債合計	936,613	1,077,381
固定負債		
その他	43,895	39,535
固定負債合計	43,895	39,535
負債合計	980,508	1,116,916
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,775	331,775
資本剰余金	37,127	37,127
利益剰余金	3,140,423	2,998,309
自己株式	△478	△478
株主資本合計	3,508,847	3,366,734
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	701	523
評価・換算差額等合計	701	523
純資産合計	3,509,549	3,367,258
負債純資産合計	4,490,057	4,484,174

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	1,189,013	1,531,466
売上原価	608,757	784,523
売上総利益	580,255	746,943
販売費及び一般管理費	315,290	286,931
営業利益	264,965	460,011
営業外収益		
受取手数料	54	38
還付加算金	144	-
受取補償金	-	17
その他	0	-
営業外収益合計	198	56
営業外費用		
支払利息	551	490
その他	57	-
営業外費用合計	609	490
経常利益	264,554	459,577
特別損失		
固定資産除却損	2	0
特別損失合計	2	0
税引前四半期純利益	264,552	459,577
法人税等	24,819	176,111
四半期純利益	239,732	283,465

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月24日 定時株主総会	普通株式	196,353	6.0	平成25年2月28日	平成25年5月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月30日 定時株主総会	普通株式	425,579	13.0	平成26年2月28日	平成26年5月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はエンターテイメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。